

宿泊サービス 死亡2件

09年度以降 市内通所介護事業所

川崎市内の通所介護事業所（デイサービス）で行っている「お泊まりデイサービス」で2009年4月以降、死亡2件を含む計14件の事故が発生していたことが5日分かった。市議会予算審査特別委員会で、三宅隆介議員（無所属）の質問に市が答えた。

お泊まりデイサービスは、高齢者が日中通う同事業所に、夜間も宿泊させるサービス。市内では11年11月時点で30施設が実施している。

市は「実態の把握」に努め、適切な対応を図りたい」と説明。三宅市議は「6畳間に何人も雑魚寝させたり、夜間見回りをしない施設もあると聞いた。何らかの改善措置を取るべきだ」と指摘している。

市高齢者事業推進課によると、川崎区の施設で同1月、87歳の女性が食物をのどに詰まらせ窒息死したほか、麻生区で今年2月、72歳の女性が嘔吐物で窒息死した。このほかトイレに行こうとして転倒し、足の骨を折るなど骨折4件を含む計12件の事故が起き、感染